

腎臓内科

1.概要

当科の診療領域は、腎炎・ネフローゼ・腎不全（腎後性以外）など内科的腎臓病一般である。尿路結石や腫瘍は、取り扱っていない。

豊橋市民病院は東三河地域の基幹病院であり、その中で当科は医師がわずか3人という、内科の中で一番小さな科であるが、多種多様な病態の診療に携わっている。実際、急性腎不全（AKI）を始めとする重症患者の血液浄化の依頼を含めコンサルトは多く、慢性腎不全（CKD）や維持透析患者の合併症の治療にも関わっている。

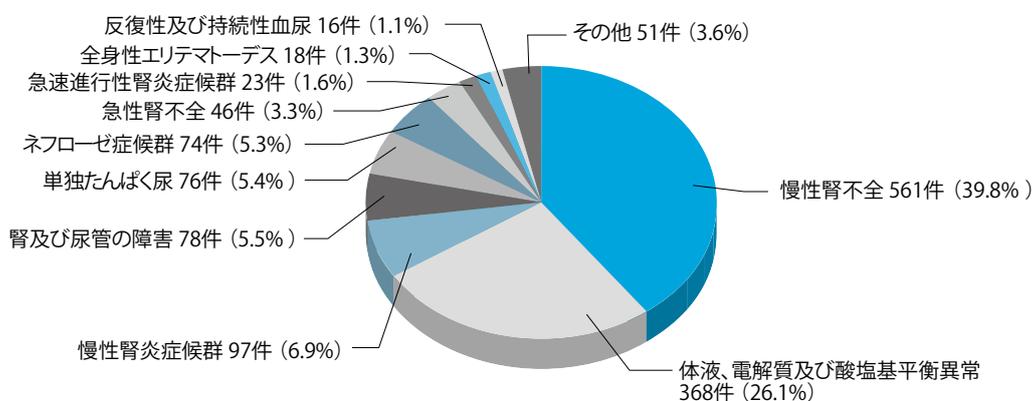
腎炎やネフローゼには、名古屋大学腎臓内科の支援の下、積極的に腎生検を行い診断・治療に役立っている。末期慢性腎不全に対しては、血液透析を導入している。院内の移植外科とも連携し、適応のある患者様には、腎移植も勧めている。また、腹膜透析（CAPD）も、小規模であるが再開にこぎつけた。

血液浄化療法は、MEや看護師の協力により、血漿交換・免疫吸着・持続的血液ろ過透析（CHDF）などを病態に応じて施行している。

（部長 山川 大志）

●疾患別頻度

総件数：1,408件



●科指定5疾患

疾患名	件数 (件)	疾患名	件数 (件)
1 慢性腎不全	561	4 急速進行性糸球体腎炎	23
2 ネフローゼ症候群	74	5 IgA 腎症	16
3 急性腎不全	46	計	720

学会発表（医局）

<腎臓内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	透析導入時におけるヘパリン起因性血小板減少症の臨床的特徴	前川 道隆	第58回日本透析医学会学術集会・総会	2013/6/21
②	東三河における透析施設の震災ネットワーク作成へ向けて	山川 大志	第58回日本透析医学会学術集会・総会	2013/6/21
③	化膿性椎間板炎と硬膜外腫瘍に人工血管感染を合併した透析患者の1例	山川 大志	第58回日本透析医学会学術集会・総会	2013/6/21

研究会発表（医局）

<腎臓内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	ペーチェット病を加療中に間質性腎炎を発症した一例	吉岡 知輝	第75回名古屋腎疾患研究会	2013/2/26
2	震災時の透析対策:病院透析室より	山川 大志	東三河地区透析医会 臨時拡大会議	2013/3/2

座長・司会（医局）

<腎臓内科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	山川大志「病院透析室より」、ほか	山川大志	東三河地区透析医会 臨時拡大会議	2013/3/2
2	岡田正人「膠原病の病態と治療」	山川大志	東三河膠原病セミナー2013	2013/11/29

講演（医局）

<腎臓内科>

※丸数字は共同講演者を示す

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	「人工透析による合併症」について	山川 大志	愛腎協東三河第一第二支部主催 『透析医療に関するセミナー』	2013/9/22

論文・著書（医局）

<腎臓内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	題名	発表者及び共同研究者	雑誌名
①	Behcet病のぶどう膜炎に対してインフリキシマブを使用中、肉芽腫性間質性腎炎をきたした1例	吉岡 知輝	日腎会誌 2013
②	Anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis associated with infectious mononucleosis due to primary Epstein-Barr virus infection: report of three cases	Makoto Yamaguchi	Clinical Kidney Journal